

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：元荒川の自然を守る会

20A-48

代表者：会長 須長こう

URL :

1. 活動が必要とされた状況

越谷市南荻島及び北越谷地域（東武線北越谷駅から西方面）には多くの自然が残されている。しかし、住民の多くの方が自然の存在や価値に気づかないままになっている。また、この地域には約60年前に作られた道路建設計画があり、今後道路が建設される可能性が強い。建設されると、今ある自然は大きな影響を受け、景観も一変してしまう。そうならないうちに自然の様子を記録しておきたいという気持ちからこの本の作成をスタートさせた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

2016年7月から1年間、出津橋近辺の元荒川河川敷を中心に写真を撮り、「週刊元荒川」を作成した。そうして翌年7月に1年分の「週刊元荒川」を1冊の本にまとめ、11月に『元荒川の四季』として出版した。1900部作り1450部を地元の自治会員に配布した。また、朝日新聞などで記事になったので、県東部の方たちを中心にこの本をお譲りした。



（写真左が道路予定地となっている河川敷の一部）

3. 活動の成果

配布した自治会員の方から、「地元の良い風景を本にしてもらったのはうれしい」とか、「自宅の近くにこれほど多様な自然があるとは知らなかった」という話を聞いて、本を出した意味があったと思っています。今までより多くの方が土手の道を歩いて、多くの自然に触れる機会が生まれることが期待できます。

自然を守る会が12月10日に川べりの清掃活動を行いました。この本を読んで初めて清掃活動に参加した方が2名いました。これも本の出版がきっかけで得られた成果だと思います。

4. 今後に残された課題

川べりの自然について言うと、大きな課題があります。一つは道路建設によって自然や環境の破壊をもたらすことの無いよう、県や市の当局と話し合いを続けていくことです。建設の中止を望んでいますが、最低でも当会の望むトンネル方式を採ってほしいと考えています。もう一つは川べりの自然の多様性回復です。アレチウリの繁茂によって、失われている多様性を少しでも取り戻す必要があります。そのためには当会が先頭に立って呼びかけしなければいけません。活動のさらなる活発化が課題です。